

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	水道施設の改築更新・地震対策		
予算額	4,320,000 千円 (債務負担行為設定含む)	新規・充実・継続の別	継続
担当課	水道部 管理課(672-7743)		

[事業実施に至る経過・背景など]

浄水場をはじめとする水道施設は、これまで長きにわたり本市の水道事業を支えてきたが、順次、標準耐用年数を迎え、老朽化が進んでいる。それにより、施設の停止や給水への支障が生じることのないよう、維持管理を適切に行いながら、施設の改築更新を引き続き実施する必要がある。

[事業概要]

浄水場の基幹施設（配水池等）について、引き続き改築更新・耐震化を推進する。蹴上浄水場粉末活性炭注入設備設置工事に着手するとともに、新山科浄水場導水トンネル築造工事、低区3・4号配水池耐震化工事等を継続して実施する。

<京都市上下水道事業経営ビジョンでの目標（水道施設関連）>

項目（指標名）		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3) ^{※1}	2022 (R4)	2027 (R9)
導水施設の耐震化率 ^{※1}	目標	26.8%	施工中	施工中	施工中	施工中	施工中	62%
	実績	26.8%	施工中	施工中	施工中	施工中	—	—
浄水施設の耐震化率	目標	51.0%	51.0%	51.0%	51.0%	51.0%	76%	100%
	実績	51.0%	51.0%	51.0%	51.0%	51.0%	—	—
配水池の耐震化率	目標	28.1%	31.3%	31.3%	35.9%	43.2%	54%	73%
	実績	28.1%	28.1%	31.3%	35.9%	43.2%	—	—

※1 新山科浄水場導水トンネル築造工事をH29から施工中、R9に完成予定
 ※2 R3実績は見込値

(主な事業内容)

- 新山科浄水場導水トンネル築造
- 蹴上浄水場：粉末活性炭注入設備設置
- 松ヶ崎浄水場：高区3号配水池内面補修他
- 新山科浄水場：排水処理電気棟新築、低区3・4号配水池耐震化



新山科浄水場導水トンネル築造工事
(トンネル掘進の様子)



現在の粉末活性炭注入設備

[参考（他都市の状況・事業効果など）]

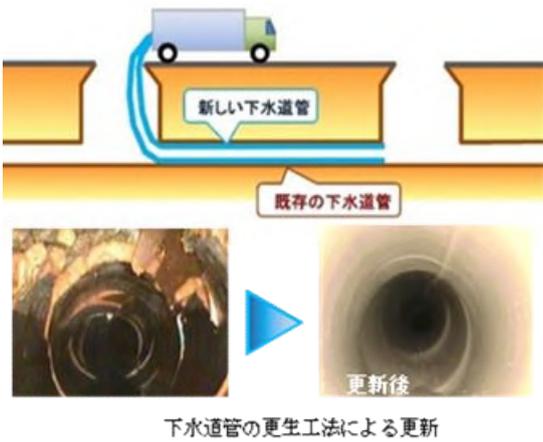
令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	水道管路の改築更新・地震対策																																								
予算額	14,980,000 千円 (債務負担行為設定含む)	新規・充実・継続の別	継続																																						
担当課	水道部 管理課(672-7743)																																								
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>本市には、約4,200kmの水道管路(配水管)があり、ライフラインである水道水の供給を支えているが、事業拡張期(昭和40年代～50年代)に整備した管路が順次標準耐用年数を迎え、老朽化が進んでいる。水道管路の老朽化は、市民生活や社会経済活動に深刻な影響を与える漏水や道路陥没などの原因となるため、水道管路の改築更新を継続的に実施する必要がある。</p>																																									
<p>【事業概要】</p> <p>老朽化した水道管路の更新を継続(約58km, 更新率1.5%)し、更新時には、耐震性・耐久性に優れる管材料を使用し、耐震化を図る。</p> <p>また、給水のバックアップ機能を強化するため、隣接する給水区域間をつなぐ連絡幹線配水管の布設を引き続き実施する。</p>																																									
<p><京都市上下水道事業経営ビジョンでの目標(水道管路関連)></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(指標名)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R元)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2027 (R9)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">老朽配水管の解消率</td> <td>目標</td> <td>23.0%</td> <td>27.1%</td> <td>31.9%</td> <td>37.1%</td> <td>42.1%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>22.5%</td> <td>27.1%</td> <td>31.9%</td> <td>37.1%</td> <td>42.1%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要管路の耐震適合性管の割合</td> <td>目標</td> <td>51.3%</td> <td>52.6%</td> <td>54.0%</td> <td>55.5%</td> <td>57.0%</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>51.5%</td> <td>52.8%</td> <td>54.5%</td> <td>56.1%</td> <td>57.0%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R3 実績は見込値</p>				項目(指標名)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2027 (R9)	老朽配水管の解消率	目標	23.0%	27.1%	31.9%	37.1%	42.1%	76%	実績	22.5%	27.1%	31.9%	37.1%	42.1%	—	主要管路の耐震適合性管の割合	目標	51.3%	52.6%	54.0%	55.5%	57.0%	66%	実績	51.5%	52.8%	54.5%	56.1%	57.0%	—
項目(指標名)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2027 (R9)																																		
老朽配水管の解消率	目標	23.0%	27.1%	31.9%	37.1%	42.1%	76%																																		
	実績	22.5%	27.1%	31.9%	37.1%	42.1%	—																																		
主要管路の耐震適合性管の割合	目標	51.3%	52.6%	54.0%	55.5%	57.0%	66%																																		
	実績	51.5%	52.8%	54.5%	56.1%	57.0%	—																																		
<p>(主な事業内容)</p> <p>○配水管の布設替え(配水管更新率: 1.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線配水管: 布設替え 3.5km ・支線配水管: 布設替え 29.3km ・補助配水管: 布設替え 25.0km <p style="text-align: center;">計 約58km</p> <p>○連絡幹線配水管の布設 1.2km</p>																																									
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>水道管更新工事</p> </div> </div>																																									
<p>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</p>																																									

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	下水道管路の改築更新・地震対策		
予算額	2,670,000 千円 (債務負担行為設定含む)	新規・充実・継続の別	継続
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 本市には、約4,200kmの下水道管があり、快適で衛生的な暮らしを支えている。良好な水環境を守る下水道を将来にわたって安心してお使いいただくため、老朽化した下水道管を更生工法や布設替えにより計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を進め、地震に強い下水道の整備を推進する必要がある。</p>			
<p>【事業概要】 布設年度が古い管路の中でも、破損等のリスクが高い規格の古い管路や緊急輸送路下に布設された管路、また、避難所等からの排水を受ける管路等の重要なものについて、更新や耐震化を実施し、下水道機能の維持・向上を図る。 京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）で目標としている下水道管路改築・地震対策率28%のうち、令和2年度末実績で21.4%の対策が完了している。 令和4年度は、老朽化した管や重要な管路の対策を約33kmにわたり実施し、改築更新・地震対策を進めていく。</p>			
 <p>The diagram illustrates the pipe renovation process. At the top, a truck is shown installing a '新しい下水道管' (New sewer pipe) into a trench. Below this, a cross-section shows the '新しい下水道管' (New sewer pipe) being laid over the '既存の下水道管' (Existing sewer pipe). At the bottom, two circular images show the interior of a pipe: the left one is dark and narrow, representing the '更新前' (Before renovation) state, and the right one is bright and wider, representing the '更新後' (After renovation) state. A blue arrow points from the '更新前' image to the '更新後' image.</p> <p>下水道管の更生工法による更新</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	下水処理施設の改築更新・地震対策		
予算額	4,680,000 千円 (債務負担行為設定含む)	新規・充実・継続の別	継続
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>水環境保全センターの主要な施設について、日常の点検整備に基づき、健全度に応じた改築更新を進めるとともに、揚水機能、沈殿機能、消毒機能など地震時においても維持すべき重要な機能を有する施設については、改築更新に合わせて耐震化を進める。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）で目標としている37施設（令和4年度末）のうち、令和2年度末実績で24施設の改築更新が完了している。</p> <p>令和4年度は、鳥羽水環境保全センター消毒施設改築更新工事、流動炉延命化工事及び伏見水環境保全センター分流系最初ちんでん池改築更新工事等を継続する。</p> <p>(主な事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥羽水環境保全センター 消毒施設改築更新 <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和2年度～令和6年度 ○鳥羽水環境保全センター 流動炉延命化 <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和2年度～令和6年度 ○伏見水環境保全センター 伏見分流系最初ちんでん池改築更新 <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和元年度～令和5年度 			
			
<p>鳥羽水環境保全センター消毒施設（塩素混和池）</p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	浸水対策の推進		
予算額	4,360,000 千円 (債務負担行為設定含む)	新規・充実・継続の別	継続
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年、台風に伴う大雨や、局地的大雨などが増加している。本市では、これまで下水道の整備に併せて浸水対策を進めてきた結果、5年確率降雨（1時間あたり52ミリ）に対する雨水整備率は、全国トップクラスの91%となっている。</p> <p>また、10年確率降雨（1時間あたり62ミリ）への対応については、これまでに総貯留量50万7千トン（学校プールにして約1,270個分）の雨水幹線等の整備を進めてきた。</p> <p>今後も市民の皆様様の生命や財産を守るため、「雨に強いまちづくり」を推進し、大雨の時に雨水を取り込む雨水幹線等の整備を着実に進め、浸水被害の最小化を図っていく。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>令和4年度は引き続き、鳥羽第3導水きよ、烏丸丸太町幹線、西部1号・2号分流幹線及び伏見雨水滞水池の整備を着実に進める。また、雨水ますの増設などのきめ細やかな対応も行う。</p> <p>(主な事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥羽第3導水きよ（鳥羽処理区） <ul style="list-style-type: none"> ・口径 4,700mm/延長 6,100m ・供用開始（予定） 令和9年度 ○烏丸丸太町幹線（烏丸丸太町周辺地区） <ul style="list-style-type: none"> ・口径 2,400mm/延長 1,700m ・供用開始（予定） 令和6年度 ○西部1号・2号分流幹線 (右京区西院の阪急アンダーパス周辺) <ul style="list-style-type: none"> ・口径 2,000～2,800mm/延長 1,070m ・供用開始（予定） 令和5年度 ○伏見雨水滞水池（伏見処理区） <ul style="list-style-type: none"> ・貯留量 11,000m³ ・供用開始（予定） 令和6年度 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			



鳥羽第3導水きよ

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	上下水道局南部拠点整備事業		
予算額	6,970,000 千円 (債務負担行為設定)	新規・充実・継続の別	継続
担当課	総務部 総務課(672-3133)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都市上下水道事業経営ビジョン「京（みやこ）の水ビジョン—あすをつくる—」（2018-2027）に掲げている取組の一つとして、市内に点在する水道・下水道の事業所等を集約することにより、効果的・効率的な業務執行体制を構築するとともに、庁舎等の維持管理、改築等に係るライフサイクルコストの縮減及び集約後の施設の有効活用を図る。あわせて、漏水や地震、大雨等の大規模災害の発生時における迅速な復旧対応を可能とすること等を目的として、南部エリアの事業・防災拠点を整備する。</p>			
			
<p style="text-align: center;">南部拠点（新庁舎） （イメージ）</p>			
<p>〔事業概要〕 <南部拠点整備事業> 平成30年9月に整備事業に係る基本計画を策定し、その後、事業手法等の詳細な検討を行い、資金調達から設計、建設、維持管理・運営、資産活用までを一括して民間事業者へ委託するPFI（※）手法にて実施することとした。 令和元年5月に入札公告を開始し、同年12月に落札者が設立した特別目的会社（SPC）と事業契約を締結した。 令和2年6月に庁舎の基本設計を公表した後、令和3年1月から建設工事に着手し、令和4年4月に竣工、同年5月から事業・防災拠点として開庁する。 ※PFI：公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う事業手法</p>			
<p><事業契約の概要> 事業期間 令和元（2019）年12月～令和21（2039）年3月 （19年3箇月） 契約金額 181億7,194万円（税込）※施設整備費用及び維持管理・運営費用の合計額 貸付料 28億5,504万円（税込）※新庁舎資産活用スペース及び現本庁舎跡地の貸付収入</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

令和4年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	琵琶湖疏水の魅力発信(琵琶湖疏水通船, 日本遺産, 文化観光推進法関連事業)		
予算額	350,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	総務部 総務課(672-7709) 水道部 管理課(672-7759)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成30年に約70年ぶりに復活した琵琶湖疏水通船事業は、通算乗船率9割超と高い人気を誇っている。</p> <p>また、疏水竣工から130年を迎えた令和2年6月には、文化庁の日本遺産に認定され、同年11月には、琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点計画が国において認定されるなど、琵琶湖疏水への関心は大きく高まっている。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>琵琶湖疏水通船事業を引き続き支援するとともに、日本遺産及び文化観光推進法に関連する事業を進めることで、琵琶湖疏水沿線における受入環境整備や、琵琶湖疏水記念館における賑わい空間の創出等を図り、琵琶湖疏水の魅力向上及び情報発信に努める。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大津閘門の活用に向けた改修に係る工事 ○琵琶湖疏水沿線における道標整備及び道標と連動したウォーキングマップの作成 ○琵琶湖疏水記念館屋外テラス等の改修に向けた基本設計・実施設計及び誘客事業等の実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="341 1451 783 1783" style="text-align: center;">  <p>琵琶湖疏水通船事業</p> </div> <div data-bbox="831 1444 1259 1783" style="text-align: center;">  <p>琵琶湖疏水記念館</p> </div> </div>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 予算額 350,000 千円のうち、100,000 千円は国の補助金等を活用 ※ 日本遺産について 地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取り組みを支援する制度。 ※ 文化観光推進法について 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、計画に基づく事業に対し、特別の措置等を講じる制度。 			